

降雪粒子特性の定量化  
降雪粒子観測とレーダー、衛星、雲物理スキームに  
おける統一的扱いは可能か？

降雪に関するレーダーと  
数値モデルによる研究  
(第十二回)

- 降雪粒子の定量的判別手法(CMF法)とその可能性  
ーフラックスチャートからデンシティチャート、そして初期積雪密度へー  
石坂雅昭(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)
- マイクロ波リモートセンシングを目的とした、MPS法による落下水粒子の融解  
シミュレーション  
石元裕史(気象庁 気象研究所)
- 次世代非静力学モデルasucaを基にした変分法データ同化システムの開発  
幾田泰醇(気象庁 予報部数値予報課)
- 防災科研における雲解像数値モデルCReSSのデータ同化システムの開発と  
今後の計画  
清水慎吾(防災科学研究所 水・土砂防災ユニット)
- オーバーラップのある雲の構造解析 雲解像モデルと衛星観測の比較  
(2012年7月の事例) 吉岡真由美(東北大学 大気海洋変動観測研究センター)
- 冬季北陸地方における固体降水粒子の地上観測とXバンド偏波レーダーに  
よる降水粒子判別の比較 瀨瀬文晴(名古屋大学 地球水循環研究セン  
ター)
- レーダーダークバンドの発生理由と頻発する2本のブライツバンド  
藤吉康志(北海道大学 低温科学研究所)
- ODBSレーダーを用いた新潟の降雪と降水の観測  
本田明治・岩本勉之・木村祐輔(新潟大学 理学部自然環境科学科)

日時：2013年11月28日(木)14時～

29日(金)9時05分～

場所：防災科学技術研究所

雪氷防災研究センター大会議室

(参加費：無料)